

くすのき

Kusunoki
市立四日市病院ニュース



発行 令和7年3月24日

市立四日市病院くすのき編集委員会

<https://www.hospital.city.yokkaichi.mie.jp>

Vol.28



Contents

- 感染管理認定看護師 活動紹介
- お薬の話（手術や検査前に休薬が必要となるお薬について）
- 入退院支援センター
- AI 技術を搭載した CT の導入について
- 調理実習を再開しました
- 股関節の痛みをあきらめないで
- 医療と福祉“ほっと”ニュース（市民公開講座を開催しました）

感染管理認定看護師 活動紹介

杉山 要

感染管理認定看護師とは

感染管理認定看護師とは、公益社団法人日本看護協会が認定する資格の1つで、疫学、微生物学、感染症学、消毒と滅菌などに関する専門領域を基に医療施設に応じた感染対策を行います。医療施設を利用する患者・家族・面会者はもちろん、現場で働くすべての人を感染から守ることを目的に活動します。私は新型コロナウイルス感染症が流行した際に、専用病棟で対応したことをきっかけに感染管理に興味を持ち2023年に感染管理認定看護師の資格を取得しました。現在はICU/HCU病棟に勤務しつつ、兼任で院内の感染管理活動を行っています。

感染管理認定看護師の活動

医療関連感染や多剤耐性菌（抗菌薬が効きにくい菌）の発生状況を監視し感染症の発生を正確に把握し、感染拡大を予防・制御を行います。また感染発生の要因を科学的根拠に基づき分析し、手順や採用している医療機材・設備の見直しを行います。そして感染対策が現場で実践できているかを評価し、感染対策の徹底をするために研修会を行なっています。感染対策は医療施設全体で取り組む必要があり、医師3名、看護師3名、薬剤師4名、臨床検査技師3名の感染制御チームで活動しており、感染管理認定看護師はその中心的な役割を担っています。

<主な活動内容>

1. 感染の予防・管理システムの構築
2. 感染の予防・管理システムの評価・改善
3. 感染状況の監視と分析
4. 感染対策の指導・教育
5. 感染発生時の対応
6. 感染対策の相談対応
7. 職業感染防止の推進
8. 感染管理視点での施設管理
9. パンデミックを想定した準備と対応

手指衛生強化プログラムについて

医療施設において多剤耐性菌（抗菌薬が効きにくい菌）などによる医療関連感染が大きな問題となっています。感染を引き起こす病原体の多くは、汚染された医療従事者の手指を介して拡がると考えられています。そのため、手指衛生は医療関連感染を防止する最も重要な手段と考えられており、CDC（米国疾病予防管理センター）やWHO（世界保健機関）から医療従事者の手指衛生の重要性が呼びかけられています。当院では手指衛生を促進するための様々な取り組みがなされてきましたが、新型コロナウイルス流行以降手指消毒薬使用量は減少傾向となっていました。そのため2024年度から手指衛生強化プログラムを導入し取り組んでいます。手指衛生強化プログラムとは、医療現場において医療従事者が適切なタイミングで手指衛生（手洗いやアルコール手指消毒）を実施するよう促進し、感染症の予防を目的とした活動です。手指衛生は職員の行動変容に関わるため、「5つの要素」「5つの瞬間」「5つのステップ」の3つの大きなポイントを評価し、戦略的に取り組みを行っています。



手指衛生多角的戦略の概要（全体像）

最後に

感染対策は、安心・安全な医療を提供する上で最も重要なことと考えます。医療施設や地域の感染対策向上に寄与できるよう努めていきます。今後ご協力をよろしくお願い致します。

お薬の話 24

手術や検査前に休薬が必要となるお薬について

みなさんは毎日継続して飲んでいるお薬はありますか？もしも手術や検査が必要となったとき、休薬（一時的に服用を中止すること）が必要となるお薬があることをご存知でしょうか。

当院では 2024 年 7 月に入退院支援センターが開設され、手術・検査を受ける予定の患者さんへ入院前面談を行っています。薬剤師は普段飲んでいるお薬やサプリメント、健康食品、お薬のアレルギーなどを確認させていただきます。手術や検査の延期を避け、より安全な医療が提供できるよう心がけています。

そこで今回は手術や検査前に休薬が必要となるお薬についてご説明します。



血液をサラサラにするお薬

主なものは抗血小板薬・抗凝固薬と呼ばれ、血液をサラサラにして狭心症や心房細動、脳梗塞などの治療や予防のために使われています。脂質異常症のお薬の一部にも同様の作用があります。そのため手術時や手術後の出血を増やしてしまう可能性があるため入院前に休薬が必要になる場合があります。ただ急に休薬をすることで血液が固まりやすくなる方もみえるため、患者さんによって指示は異なります。医師の指示に従って下さい。

女性ホルモンを含むお薬や骨粗しょう症薬

婦人科疾患の治療薬や経口避妊薬、一部の骨粗しょう症薬では、女性ホルモンの働きにより血液を固まりやすくする作用があります。手術中や手術後は安静にしているため足の血の流れがゆっくりとなり、血栓症を引き起こすことがあるので休薬をすることがあります。

糖尿病薬

手術による体調の変化や絶食の影響による低血糖や意識障害がおこることがあります。

これらを予防するために、手術や検査の前後では休薬をすることがあります。

サプリメント・健康食品

サプリメントにも血液をサラサラにする成分を含んでいるものが多く販売されています（EPA/DHA、ニンニク、イチョウなど）。また麻酔薬の作用に影響を与える成分を含んでいる製品もあります（セントジョーンズワートなど）。このような理由から、サプリメント・健康食品は手術・検査前には原則すべて中止としています。

今回紹介したお薬以外にも休薬が必要なお薬があります（血圧の薬や免疫関連のお薬など）。休薬するお薬やその期間は、手術や検査を行うにあたり患者さんの体の負担や出血の程度、お薬の継続・休薬をすることのリスクなど総合的に考え決めています。お薬が正しく休薬できていないと手術や検査ができなくなる場合があります。ご自身の判断で休薬せず、必ず医師の指示に従ってください。もし手術・検査が決まった後で新しいお薬が始まった場合、もしくは言い忘れたお薬があった場合はすぐにお申し出ください。

また、休薬が必要なお薬が一包化されている場合など、ご自身で休薬を行うことが難しい場合は、かかりつけの調剤薬局の薬剤師とも連携を図り、適切に休薬が行えるよう服薬支援の取り組みもおこなっています。患者さんからの情報提供はとても大切です。

安全な手術・検査の実施のためにご理解とご協力をお願いします。（薬局）





入退院支援センター

看護部 次長 樋口 陽子

入退院支援センターが開設して早くも約半年が過ぎました（2024年12月現在）。入退院支援センターの体制も徐々に整備されつつあります。入退院支援業務は、多職種連携による退院後の生活を見据えた早期介入が重要となります。これからも入院から退院まで不安なく入院生活が送れるよう、そして、安心して退院が迎えられるよう支援して参ります。

歯科口腔外科を受けています。今後は、他科も面談を進め予定入院患者さんを全て受け入れていく予定です。



入退院支援センターとは

皆様もご存じとは思いますが、簡単に入退院支援センターの概要と流れを説明いたします。入退院支援センターは、以下の図のように、外来で入院決定後、入院する1週間から10日前ぐらい前の入院待ち期間の間に予約を頂き、患者さんやご家族の方と面談を行います。面談によって入院生活を安定させるための支援、また、薬剤師も介入し服薬管理の状況確認等を行います。外来受診時から退院後における住み慣れた地域での生活まで見据えた切れ目のない支援を実施いたします。

今後

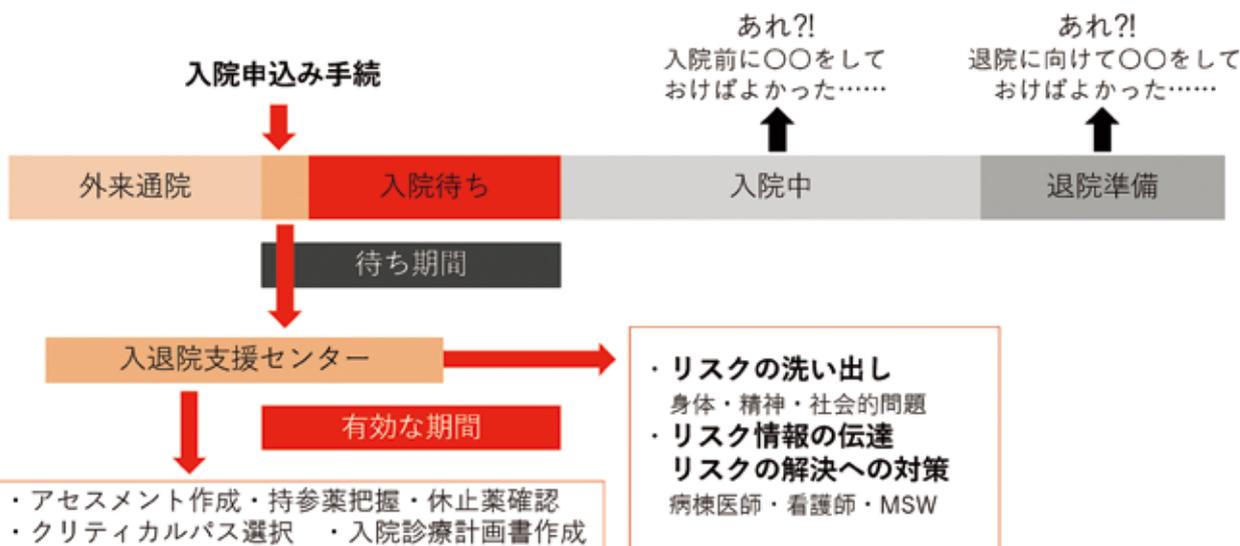
入退院支援センターの円滑な運用を進め、切れ目のない安心・安全な看護を提供していきます。そして、皆様にはご理解いただき入院予定となる患者さんは、入退院支援センターを是非ご利用いただきますようお願い申し上げます。少しでも、患者さんの入院による不安や病状経過を見据えて患者さんの生活に応じた心のこもった看護を提供して参ります。多職種で連携しながらその専門性を発揮して患者さんをサポートしていく所存です。

現在の入退院支援センターの状況

現在毎月の入退院支援センターの面談件数は、約130件です。外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、循環器内科、



入退院支援センターの流れ



AI 技術を搭載した CT の導入について

中央放射線室 丹羽 正蔵



最新 AI 搭載 CT 装置の導入について

約 13 年ぶりに第 2 CT 室の装置が更新され、キャノンメディカルシステムズ社製の最新 CT 装置「Aquilion ONE INSIGHT Edition」が導入されました。この CT 装置には人工知能 (AI) が搭載され、最先端の技術を用いた多くの機能を備えています。

AI とは？

AI (人工知能) とは、人間の知能をコンピュータで再現する技術のことです。その中核となる技術が「深層学習 (Deep Learning)」です。

例えば、人間は果物を見たときに瞬時に「ミカンかリンゴか」を判断しますが、これは目や耳から得た情報を過去の経験や知識と照らし合わせることで実現しています。AI も同様に、経験や知識を基に情報を分析し、推測を行います。この「学習」を可能にする手法が「機械学習 (Machine Learning)」であり、その中でも「深層学習」はより人間の脳に近い仕組みとして注目されています。

AI 技術は、翻訳、医療画像診断、囲碁、自動運転など、私たちの日常生活や専門分野で幅広く活用されています。2024 年には、AI の基盤技術を築いた研究がノーベル物理学賞と化学賞を受賞し、AI の重要性がさらに注目されています。

AI を活用した CT の機能

今回導入された「Aquilion ONE INSIGHT Edition」は、AI を活用した高度な機能を備えています。その一部をご紹介します。

1. AI カメラによる自動ポジショニング機能

従来は目視で行っていた撮影位置の調整を、自動で素早く行う技術です。ガントリ (CT 本体) に内蔵されたキャノン製のカメラが患者の体位を撮影し、その映像をもとに AI が最適な撮影位置を算出します。これにより、医療スタッフの負担を減らし、より正確で効率的なポジショニングが可能になります。

2. ノイズ低減技術: AiCE (Advanced intelligent Clear-IQ Engine)

AiCE は深層学習を活用した新しい画像再構成技術です。ノイズ成分と信号成分を正確に識別し、空間分解能を維持しながらノイズを選択的に除去します。これにより、胸部レントゲン撮影と同程度の低い X 線量で、精密な検査が可能となりました。

3. 超解像技術: PIQE (Precise IQ Engine)

PIQE は、高精細 CT「Aquilion Precision」の画像データを基に学習した深層学習再構成技術です。この技術により、より細部まで見える高解像度の画像が得られ、臨床での有用性が大きく向上します。

最後に

「Aquilion ONE INSIGHT Edition」は、AI 技術を活用して高解像度化とノイズ低減を両立した次世代の CT 装置です。これにより、多くの診療科のニーズに応える臨床画像を提供することが可能になります。今後、この CT 装置が医療現場で大きな役割を果たすことを期待しています。

調理実習を再開しました

COVID-19 感染拡大防止のため、2020年3月より調理実習を休止していましたが、今年度より、感染防止対策を徹底したうえで再開することとなりました。

調理実習は、栄養相談を受けていただいた後、言葉だけでは伝えきれない「適正な食事量」「適正な味付け」「栄養バランス」等、実際に調理し試食をしていただける食事療法の実地訓練の場として大変重要であると考えています。

今後も食事療法を必要とされる患者さんに、このような場を提供できるよう努めていきたいと思えます。

～糖尿病調理実習より～

☆メニュー☆

- ヘルシー酢豚
- キムチ冷ややっこ
- 胡瓜の生姜和え
- コーヒーゼリー
- 米飯

エネルギー470kcal 塩分2.5g 食物繊維6.4g

(コーヒーゼリー)

甘味にはラカントを使用しました

(胡瓜の生姜和え)

野菜はしっかりととりましょう

(酢豚)

油で揚げず、ヘルシーに作りました

(冷ややっこ)

キムチの塩分を活かします

☆ヘルシー酢豚☆

(作り方)

- ①豚ヒレ肉は、醤油・酒・しょうが汁に漬け込む。
- ②玉ねぎと筍水煮は櫛切り、赤ピーマンは角切り、椎茸は4つに切り、チンゲン菜はざく切りにする。
- ③①の豚肉に片栗粉をまぶす。
- ④フライパンに油を熱し、③の豚肉を中火で両面を色よく焼きいったんとりだす。
- ⑤フライパンにごま油を加え、②の野菜を強火で炒める。
- ⑥野菜が炒まったら④の肉を加え、調味料を合わせたものを入れて混ぜる。



(材料：一人分)

- 豚ヒレ肉 60g
- 醤油 3g
- 酒 2g
- しょうが汁 1g
- 片栗粉 4g
- 油 4g
- 玉葱 30g
- 筍水煮 30g
- 赤ピーマン 20g
- しいたけ 10g
- チンゲン菜 30g

- ごま油 2g
- 砂糖 2g
- 醤油 6g
- 酢 6g
- 鶏ガラスープ 1g
- 水 20g

栄養管理室

股関節の痛みをあきらめないで

整形外科副部長 岡本 昌典

立ち上がりや歩き始めに脚の付け根に痛みを感じていませんか？ その痛みの原因は股関節の軟骨がすり減っているためかもしれません。

股関節は、立つ・歩く・座るといった日常生活を支える大切な関節です。しかし、加齢や長年の負担、体重増加、骨盤の形などが原因で股関節の軟骨がすり減り骨同士がぶつかり合うことで痛みや動きの制限が現れます。これが『変形性股関節症』です。患者さんの多くは女性で、日本人の殆ど（約8割）は大腿骨を覆う骨盤の被さりがない臼蓋形成不全がその原因です。

症状は、初期では「少し痛む」「休むと楽になる」程度ですが、進行すると爪切りや靴下を履くのが難しい、階段や車・バスの乗り降りに手すりが必要になるなど日常生活にも支障が出てきます。さらに痛みが強くなると、夜間痛や歩行障害にもつながります。ただし痛みの場所に注意が必要です。放散痛といって脚の付け根だけでなく太もも・膝・腰に痛みを感じることもあるため、痛みの原因が股関節と気が付かないでいることもあります。簡単な見分け方として、あぐらをかこうとした時に痛みを感じたら股関節が原因かもしれません。病院やクリニックでは、問診や診察の後にレントゲン写真で軟骨のすり減りや関節の変形をみて診断します。

治療は、まずは手術以外の方法を行います。変形性股関節症と診断されたら、股関節の負担を減らして大事に使いましょう。関節に過度な負担のかかる動作を制限し、また過体重の方はダイエットを考えましょう。ただ筋肉が衰えると関節が不安定となり症状が悪化することがあるため、適度な筋肉トレーニングを行うことが重要です。負担が少なく筋力が強化できる水中歩行がおすすめです。他に痛みを減らすために関節

注射や痛み止めの薬を使います。体にメスを入れずに痛みや制限なく生活できるなら、それが一番だと考えます。

手術は、手術以外の方法でも症状が取れないときに考えます。一般的に行われるのは人工股関節置換術です。現在日本では年間78,000件以上行われています。痛みの原因となる関節を人工物に入れ替えることで、痛みをとる効果と機能改善効果が期待できます。最近では人工関節が入っていることを忘れて日常生活を送れることが治療目標と言われています。

当院の人工股関節置換術は、全て術前に3Dシミュレーションソフトを用いて綿密な計画を立て、患者さんに適したインプラントを選択しています。また、手術時にはコンピュータ支援ナビゲーションシステムを活用し、インプラントの設置精度の高い手術を目指しています。股関節への進入方法として後方アプローチまたは前方アプローチを採用し、関節の変形程度やニーズに応じて選択しています。手術後は翌日から歩く訓練を始めて、10日前後で杖なし歩行か1本杖歩行が安定したところで退院を予定しています。

昔は「人工関節は10年しか保たない」とよく言われたものですが、いまは耐久年数が飛躍的に改善して、15年たっても9割以上の方は保つと報告されています。ただ現在でも活動性の高い10代～30代の方では人工関節の緩みが問題であり、若い方には自分の関節を温存する骨切り手術を勧められます。

脚の付け根の痛みで苦しんでいる方は「いつか治るだろう」「年齢だから仕方ない」と我慢せずに、まずはぜひお近くの整形外科を受診してください。快適な日常を送れるように、痛みのない股関節を手に入れる方法はないか相談してみましょう。



変形性股関節症



人工股関節置換術



第11回 市立四日市病院 市民公開講座を開催しました

2024年12月14日(土)、当院主催の市民公開講座を5年ぶりに開催しました。2010年から毎年1回がんをテーマにして開催してきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、やむなく休止しておりました。

はじめに、呼吸器内科部長山下医師から肺がんに関する講演をさせていただきました。日本人の2人に1人ががんに罹患し、毎年13万人程度が肺がんと診断されています。たばこは肺がんの最も強いリスク因子のため禁煙が強く推奨され、初期症状が出にくい病気のため検診による早期発見が重要とされています。病期(がんの大きさ、他の臓器への広がり方)により手術療法、放射線療法、薬物療法のいずれか、またはそれらを組み合わせて治療を行います。特に薬物療法は遺伝子変異に合わせた薬や免疫細胞を活性化させる薬が次々に導入され、その高い効果と治療選択肢の多様化により治療成績が向上しています。

次に、地域連携・医療相談センター「サルビア」(がん相談支援センター)の長戸医療ソーシャルワーカーから、がん相談支援センターの役割と患者さんを支援する新しい制度についてご紹介しました。医学の進歩によりがん患者さんの生存率が向上する一方で、治療だけでなく就労、金銭、介護など様々な生活上の課題が生じるようになりました。インターネットが普及し、多くの情報に安易にアクセスできるようになった反面、その方に適した情報や正確な情報が分かり難くなっています。がん相談支援センターはがん診療を行っている病院などに設置されており、どなたでも無料でご相談いただけます。

**第11回市立四日市病院
市民公開講座**

日時：令和6年12月14日(土)
午後2時～3時30分
※開場：午後1時30分
場所：市立四日市病院 2階講堂
※駐車券の無料処理をさせていただきます。

座長：診療部長 渡邊純二

講演1. もっと知ろう！肺がんのこと
呼吸器内科医師 山下良

講演2. ご存じですか？がん相談支援センター
医療ソーシャルワーカー 長戸美知枝

※ご来場の際にはマスクの着用をお願いします。

手話通訳あり
参加費無料

問い合わせ先 市立四日市病院 地域連携・医療相談センター「サルビア」
TEL:059-354-1111 FAX:059-354-2214

後援：四日市医師会・四日市歯科医師会
四日市薬剤師会・三重県医療ソーシャルワーカー協会



最後になりましたが、寒い中足を運び熱心に耳を傾けてくださった皆さま、ありがとうございました。

当院は地域がん診療連携拠点病院として、また地域の基幹病院として、皆さまの健康づくりと療養生活に役立つような情報提供に今後も努めてまいります。

■ 医療福祉サービスや他の医療機関のご紹介、在宅療養についてお困りの場合は、
地域連携・医療相談センター「サルビア」(がん相談支援センター)
へご相談下さい

相談時間：月～金 8:30～17:00(予約制) TEL:059-354-1111(内線5185)